

2026 年 1 月 13 日
レイズネクスト株式会社
(東証プライム 6379)

レイズネクスト、CDP2025「気候変動」分野で「B」スコアを獲得

レイズネクスト株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：毛利照彦）は、環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体 CDP が 2025 年に実施した調査の「気候変動」分野で、当社としては初めてとなる「B」スコアを獲得しました。

CDP は、企業や自治体が開示した「環境へのインパクト、リスク、機会」に関する情報を分析・評価しています。当社が今回の評価で獲得した「B」は、CDP の評価基準において「マネジメントレベル」に位置づけられ、上位から 3 番目のスコアであり、**自社の環境リスクや影響について把握し、行動している**と評価されたことを示すものです。

レイズネクストの獲得スコア

年度	2021	2022	2023	2024	2025
レベル	情報開示	情報開示	認識	認識	マネジメント
段階	D-	D	C	C	B

評価は、4 レベル 8 段階：「リーダーシップ（A、A-）、マネジメント（B、B-）、認識（C、C-）、情報開示（D、D-）」で構成されます。



気候変動への取り組み

当社は気候変動を中長期的な重要リスクと位置づけ、IEA（国際エネルギー機関）や IPCC（気候変動に関する政府間パネル）のシナリオを参照して 2040 年までの影響を分析し、影響の大きいリスクを重点的に対処します。

また、温室効果ガス（GHG：Greenhouse Gas）の排出量を指標とし、Scope1・Scope2 の排出量を 2030 年度までに 2021 年度比で 30%削減することを目指しています。本目標の達成に向け、再生可能エネルギーや新エネルギー技術の導入、脱炭素資材・機材の採用などを推進し

ます。レイズネクストは、今回の CDP「B」スコア獲得を受け、今後も地球環境の保護と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■会社概要

レイズネクスト株式会社

事業内容：石油、石油化学、ガス、一般化学、非鉄金属、金属加工、電子材料、資源リサイクル、電力、原子力、再生可能エネルギー、分散型エネルギー、製鉄、石炭、造水、飼料、生化学、食品、医薬品、医療品、医療、情報・通信、運輸・輸送、流通、備蓄、空気調整・給排水、公害防止、災害防止、環境保全等の機器、装置、設備、施設、資機材、学術研究、システムおよびプロセスに関する下記の事業

1. 総合的エンジニアリング業務およびコンサルティング業務
2. 装置、機器の製造、調達、修理および賃貸
3. 装置、機器の設置、土木建築、電気計装、配管等の工事の設計、監理および施工
4. 設備、装置の保全業務
5. 研究、開発、技術支援および受託

設立：1938年7月

代表者：代表取締役社長 毛利 照彦

資本金：2,754百万円

従業員数：1,691名（2025年3月31日現在）

みなとみらい本社：神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-8 日石横浜ビル

磯子本社：神奈川県横浜市磯子区新磯子町 27-5

事業所：北日本、鹿島、千葉、川崎、横浜、新潟、名古屋、大阪、和歌山、水島、岩国、徳山

工場：磯子、千葉

HP：<https://www.raiznext.co.jp/>

本件に関する問い合わせ：経営企画部 広報・IR グループ 代表電話：080-2686-6422